

執筆者紹介

(担当章順、敬称略)

リザール・スクマ（第1章）

インドネシアの戦略国際問題研究センター（CSIS）所長。イスラム団体ムハマディアの中央理事会国際関係部部長。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）で Ph.D. 取得（国際関係論）。研究領域は、東南アジア安全保障問題、ASEAN、インドネシアの防衛・外交政策、インドネシアにおける政変等。

タン・シュー・ムン（第2章）

マレーシア戦略国際問題研究所外交・安全保障部長。マレーシア国民大学（UKM）上級講師。アリゾナ州立大学（ASU）で Ph.D. 取得（政治学）。研究領域は、東アジア安全保障と日本の外交関係。

ノエル・モラーダ（第3章）

フィリピン大学ディマン校政治科学部教授。北イリノイ大学（NIU）で Ph.D. 取得（政治学）（フルブライト奨学金による）。研究領域は、東南アジアの安全保障と比較政治学、ASEAN の対中、対日、対米関係等。

ラム・ペン・ア（第4章）

シンガポール国立大学東アジア研究所上級研究員。防衛研究所招聘研究員（当時）。コロンビア大学で Ph.D. 取得。最新の著作に *Japan's Peace-building Diplomacy in Asia: Seeking a more active political role*（2009年）がある。

サンドラ・タート（第5章）

南太平洋大学准教授。メルボルン大学、オーストラリア国立大学（ANU）、東京大学で学んだ経験がある。研究領域は、太平洋島嶼地域の国際情勢。特に地域の外交政策に関する政治プロセスを専門とする。

ティティナン・ボンスヒラ（第6章）

チュラロンコン大学安全保障国際問題研究所所長。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）で Ph.D. 取得。研究領域は、タイの政治、経済、外交政策、ASEAN 協力、及び東アジアの安全保障等。著書多数。

チャップ・ソサリット（第7章）

カンボジア副首相顧問、平和協力研究所前所長。シドニー大学で Ph.D. 取得（経済学）。最近の主な著作に *ASEAN and East Asian Regionalism: A Cambodian Perspective*（2007年）がある。

グエン・ヴァー・タウン（第8章）

ベトナム外交学院戦略外交研究院副院長。コロンビア大学で Ph.D. 取得（政治学）。研究領域は、国際関係論、東南アジア及びアジア太平洋地域の国際関係、ベトナムの外交政策と対米関係等。

ティン・モン・モン・タン（第9章）

東南アジア研究所（ISEAS）上級研究員。ロンドン大学東洋アフリカ研究所で Ph.D. 取得（政治学）。研究領域は、開発の政治経済学、途上国の民主化と民軍関係、ミャンマーの国内政治と経済等。

楊 健（第10章）

オークランド大学政治学部上級講師。The Journal of Human Security の創刊者・共同編集者でアジア太平洋安全保障協力会議（CSCAP）ニュージーランド委員会のメンバー。オーストラリア国立大学（ANU）で Ph.D. 取得。

千々和 泰明（第11章）

防衛研究所戦史部第2戦史研究室教官。大阪大学で Ph.D. 取得（国際公共政策）。研究領域は、日米関係と日本の外交・安全保障政策。

発行者 防衛省防衛研究所

153-8648 東京都目黒区中目黒2-2-1

TEL: 03-5721-7005 (内線 6588)

FAX: 03-3713-6149

Email: planning@nids.go.jp

Website: <http://www.nids.go.jp>

ISBN: 978-4-939034-72-5

本書で表明されている見解は、各執筆者個人のものであり、各執筆者の所属機関や政府の見解を代表するものではありません。

Copyright © 2010 The National Institute for Defense Studies

本書の全部または一部について、形態や手段を問わず、複製、情報検索システムによる保管、転送を行う場合には発行者からの書面での許可が必要です。

翻訳協力・印刷：株式会社アーバン・コネクションズ